



# 図書館だより

## 目 次

読書の姿……………	1	自己紹介……………	6
生かされる……………	2	学術講演会を開催……………	7
図書館アメニティ……………	3	大型コレクション購入……………	7
図書館利用のすすめ……………	4	「松高同窓会文庫」配架される……………	7
僕にとっての図書館……………	5	ニュース — 図書館の刊行物について —……………	7
オンライン利用者目録(OPAC)		図書館利用申込書について……………	8
端末の増設について……………	5	図書館日誌他……………	8
学内ネットワーク(EUNET)による			
OPAC接続について 第3報……………	6		

## 読 書 の 姿

四 宮 孝 昭

元々、絵が好きなのだから、旅行に行く  
と大抵、美術館を訪れる。だから沢山の絵を  
見ている。その中でも1874年、ルノワールが  
画いた「読書する女」の絵は、私が好きな絵  
の一つである。ふっくらとした頬の若い娘が、  
日の差して来る方向に本をかかげて一心に読  
み耽っているからである。

この絵は、オルセー美術館所蔵なので、三  
年に一度はフランスに旅行している私として  
は、とても親しみ易い。と言っても、実物は  
手許にないので頭の中で懐しむに過ぎない。

私の家には、不思議なことに二宮金次郎の  
陶器がある。普通は、立ってと言うよりも歩  
きつつ書物を読んでいる像であるが、私の家  
の陶器は岩の上に腰をおろしているのでは  
ある。日本の何処かにはこのような陶器を販  
売しているかも知れない。然し私はこのよう

な陶器を販売しているのを見たことはない。勿  
論、この陶器を私が購入したのでなく、父か、  
祖父か、或いは祖母が購入したものと思っ  
ている。それを私の生まれた鳴門から持って  
来て部屋に陳列しているに過ぎない。然しこ  
れが本当の姿かもしれない。立ったまま書物  
を見るなんて出来る訳はない。近頃の交通戦  
争の時代には危なくて書物を見つつ道路を歩  
くことはできない。すぐに車輻に衝突するであ  
らうからである。だから座ったまま書物を読  
むことが自然であると考え。確かこの様な  
話が新聞紙上賑わした事がある。然し結論  
を得ぬままになっている。

さて、では本当の読書の姿はどう言うもの  
であろうか。私は、私の母が話した言葉を今  
も忘れ得ない。その話とは次の様である。

母は、徳島市に於て生れた。そして少女の

時代に蒸気汽船に乗って吉野川の河口を越えて迂回し、鳴門の川岸、恐らく林崎に着き、次に約15キロメートル歩いて北灘町大浦にある母の母、即ち祖母の家を訪れていた。毎年、夏休みに行っていた。と言うのも曾祖父は町長をしていた——今も曾祖父が由緒を書いてこれを刻んだ石碑が残っている——からであろう。北灘町は播磨灘に面し瀬戸内海の東端に位置する。海は静かである。朝になると漁船は出かけ、夜になると一斉に燈をつけて帰ってくる。“海”と言う小学唱歌の通りだと言い得る。私も時折その家を訪れた事があるのでその情景を覚えている。

さて、或夏休の日、曾祖母が心配した。と言うのは、母が突然姿が見えなくなったからである。家の中には居ないし、付近にもいない。大分探したのであるが見つからない。最後に探しあてた。何と海岸の岩の上であった。母は一人、岩の上に座って書物を読んでいた。眼前は広い瀬戸内海、この海に面して突出した岩で読みふけていたのである。今もそこ

は“牛の鼻”と言われている辺りな処である。岩ばかりで樹木の類は一切生えていなく、支え木一つとしてない。幾ら泳ぎ上手な人でも転落すれば海に入り、浮き上がり得ない崖である。曾祖母は驚くやら安心するやらで、あと二人は帰宅したと言う。

この話は何ともない様であるけれども、静かな環境で書物を読むことこそ、これが本当の姿でないかと思う。

母は、私が愛媛大学に赴任するに従って、鳴門を引払って愛媛に来て、私と一緒に暮した。その後、病を得て数ヵ月後には死亡した。その病が重篤である事を知ったのか、小倉百人一首の書物を見たいと言いつづけたので私は書物を病室に届けた。母は無菌装置のついた個室において、死ぬまで、その書物を読みつづけた。興味深く。

十三夜母病棟の後より 周宗

(しのみや たかあき 医学部法医学教授)

## 生 か さ れ る

西 頭 徳 三

昨年(1994)の10月23日、愛媛経済連のレインボウ・フェスティバルの講演の冒頭で、私は次のような話をしました。去年は天候不順で米不足でしたが、今年は大変な水不足です。ひょっとしたら来年は安全問題が起きるかも知れません。安全問題といっても戦争とは限りません。地震とかの天災が起きるかも知れません、と。そしてそれから3ヵ月もしない1月17日の早朝、戦後最大といわれる阪神大震災が発生しました。

ここで私が云いたいのは予測が的中したということではありません。正直なところ、安全の話は昨夏水不足の見舞電話をくれた友人との話の中で出たもので、何ら科学的根拠のない「受け売り」に過ぎないからです。つまり、ここで考えたいのは、人間は気象、水、

森林など自然とどう向き合うべきかという問題です。確か講演のテーマも「米問題を考える」であり、そのような話をしたように記憶しています。

ところで、私たちは自然とどう関わるべきでしょうか。これについては近ごろ環境本ばかりで、この種の文献が氾濫しています。これらの主張を一言でいえば、「自然との共生」ということでしょう。人間は元来、野性生物の一種であり、気候、水、土壌など非生物的自然と人間以外の生物を環境として生きてきた。したがって今後も、人間は生態系の食物連鎖の中で自然と共生しなくて生きられないという論旨です。そして誰もが自然との共生に疑いを抱いていないようです。

では現実に、私たちは自然と共生している

のでしょうか。ごく身近な例をあげましょう。私は毎日石手川の湯渡橋を渡って農学部に通っています。その度に川面を覗き込みますが、春も夏も秋も流れの中に魚の姿はほとんど見られません。また、農学部の前に1mほどの用水路がありますが、そこにみられるのは白く濁った水と川底に張りつき揺れ動く得体の知れない物体だけです。将来、松山市内に100%下水道が完備されたとしても、人間の技術レベルでは一度汚染された水は決して元には戻りません。廃水は希釈されて瀬戸内海に排出され、私たちの眼前から消え去るだけのことです。

私たち自然と共生などしていないし、今後でもできないと思われまます。私たちの生活が高度化し大量の水、エネルギーを消費すればするほど、それは不可能となります。私たちはただ単に自然の力に依存しているだけです。私たち人間は自然と共生という尊大な考えを捨て去るべきだと思います。

今や、私たちは自然に「生かされている」という認識をベースに社会システムを根底から再構築すべきです。もちろん、そのような認識をもつということは自然に盲目的に追随するということではありません。ちなみに、黒沢明監督の初期の作品に『生きる』があります。ある市役所の無気力な万年課長の主人公が、自分がガンで余命いくばくもないことを悟り、小さな児童公園の完成に全力投球するストーリーです。私たちは自然から「生かされている」という人間社会の限界を自覚し、その中で最大限「生きる」知恵を出し、それを確実に実行していくという意味で、この40年以上も前の名作を思い出しました。

現在、私は水・土地資源管理を社会システムの中にどう組み込むかという問題に取り組んでいます。自然に「生かされている」という問題は私自身のテーマなのです。

(さいとう とくぞう 農学部分館長)

## 図書館アメニティ

仁科弘重

アメニティという言葉が使われるようになって久しい。最近では、テレビのCMでも耳にするようになった。アメニティは、ラテン語の「Amoenitas(アモエニタス)：快適な、喜ばしい」に由来しており、一般には「快適性」とか「快適性の追求」という意味で用いられている。

その中で、植物を用いたアメニティは、「グリーンアメニティ」といわれ、注目を集めている。先日も、NHKテレビの「なせばなるほど」という番組で、植物のアメニティ効果についてわかりやすい実験を行っていた。筆者の研究室でも5年ほど前から研究を行っている。

植物のアメニティ効果には、環境調節効果、心理的効果、知覚効果が考えられている。環境調節効果は、気温・湿度・光・空気流動な

どを調節する効果で、例えば、冬季の乾燥防止などがある。心理的効果は、植物を見ることによって居住者の心理が変化する効果で、植物を見ると脳波のα波の量が増えることが報告されている。筆者らの実験では、「心を落ちつかせる」植物としてベンジャミン・リッチ、マッサンギアナ、ゴールドクレストなどが高く評価され、また、植物を置くと物理的空間は狭くなるが心理的空間は広く感じられるようになることもわかった。知覚効果は、人間の五感(視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚)から得られる情報による効果で、例えば、植物を見ることで視覚疲労が防止、回復されることが報告されている。筆者らの実験でも、この効果は確認され、また、植物の種類によって効果に差があることもわかった。

人間はすべての生物の中で最も知的好奇心

の旺盛な生物であり、図書館はその知的好奇心を満足させてくれるところである。もし、時間に十分な余裕がある時に、1日をゆっくり図書館で過ごすというのは、誰にとっても非常に心やすらぐことであろう。この意味では、図書館は、本質的にアメニティ空間であろう。

しかし、現実に図書館を利用する場面を考えると、忙しい中での文献調査、試験勉強など、心に余裕をもてる状態で利用しているとは限らない。また、社会の情報化の進展に伴って、図書館でも文献検索などでディスプレ

イ端末を利用する時間が増えることは間違いないであろう。

狭い研究室、実験室などと比べると、図書館には空間的余裕が比較的あるように思える。鉢植えの観葉植物を置くぐらいのスペースはあるであろう。観葉植物の置き方に工夫をすれば、音や視線を遮ることも期待できる。図書館が本来のアメニティ空間であり続けるためにも、植物の導入を検討できないものであろうか…。

(にしな ひろしげ

農学部施設生産機械学助教授)

## 図書館利用のすすめ

桧垣 曜子

新入生の皆さん、愛媛大学入学おめでとうございます。厳しい受験戦争からやっと解放された訳で、図書館から当分縁遠くなりたいかも知れませんね。ですが、大学生活で4年間図書館を利用する訳ですから、ここでその利用法について述べてみようと思います。

とりあえず、最初に上げておきたい愛大図書館の利点は、専門書の多さではないでしょうか。レポート締め切りやテスト前には、是非使用するとよいと思います。特に、大学の図書館ですので、専門別に書物が取り揃えられており、非常に助かりました。それと、毎日の新聞が図書館には揃えられています。その種類は豊富で、経済新聞や英字新聞などもあります。新聞を取っていないかったら、ここで見るといいですよ。

また、テスト前には図書館に来ると必ず知人と会えるので、情報交換の場にも打ってつけです。でも、おしゃべりは小さな声でしましょうね。図書館は冷暖房装備ですので(時間の制限がありますが)、下宿での夏の蒸し暑い生活に嫌気が差したら、図書館を利用しない手はないでしょう。図書館に行くことによって、知性もアップ(?)するのですから、一挙

両得ですよ。また、愛大図書館は休館日がないのが非常にうれしいですね。市内の図書館は週に1回月曜日がお休みなのですが、愛大図書館は大学自体がしまっている土曜・日曜にも利用できるというのが便利です。

調べたい書物で愛大図書館でない物は、職員さんに言ってもらったら、他大学から取り寄せてもらえる物もあります。その場合、送料は自分持ちになりますが。職員さんはどなたも親切な方で、分からない事はどんどん聞いたらいいと思います。必要なこと以上に、様々な情報を教えて下さるので非常に役にたちました。しかし、かく言う私も実際、図書館を頻繁に使うようになったのは、卒業研究を始めた4回生になってからでした。ですが、早く図書館を利用するだけ利用したらよかったなと思います。

最後になりましたが、新入生の皆さん、サークルやバイトなどで学生生活をエンジョイして下さい。勿論、図書館も精一杯利用して単位なども落とさないようにしましょうね。(ひがき ようこ

教育学部小学校教員養成課程4回生)

## 僕にとっての図書館

大島清孝

“図書館”を辞書で調べてみると、「図書、資料、フィルムなどを集めて、多くの人に見せる設備をした所」（角川国語辞典より）とあります。そんな図書館を初めて身近に感じたのは、小学校4年生の時で、友達の間で流行したSF小説を借りるため何度も足を運びました。

それから月日が流れ大学生となった僕にとって、図書館の存在はさらに大きいものとなりました。図書館の魅力は何といっても空調設備が完備されていることです。試験期間には勉強場所として、夏休みには昼寝をするためによく利用しました。体育系の部に入っていたので、昼寝はもっぱら城北の図書館でしたが、ソファで横になっていると、「図書館は寝る場所じゃないの。」とよく叱られました。本当はその通りだと思っていましたが、部活の疲れと図書館の涼しさに誘惑され、全く懲りる事なく利用させていただきました。勉強の場として利用したのはごく限られた日

数でしたが、日頃から勉強していない者が勉強をやり始めるキッカケをつくってくれる場所として大変役に立ちました。

また、学年が上がるにつれ専門書を調べなければならない機会が増え、図書館を本来の目的で利用するようになりました。自分がそのようなになると現金なもので室内でひそひそ話をしているのでさえ邪魔に感じ、そういえば自分は昼寝をしていたなあ。と反省したり、でも静かだったからいいか。と開き直ったりして、思わずニヤニヤしてしまったことも何度となくありました。

今年の4月で6回生になります。さすがに今は図書や論文を調べたり勉強をするためだけに利用しています。僕が言うのも変ですが図書館はちゃんとした目的を持って、職員の方々に迷惑をかけないようにしましょう。僕もそうするつもりです。

（おおしまきよたか 医学部医学科5回生）

## オンライン利用者用目録(OPAC)端末の増設について

OPAC(Online Public Access Catalog)は、本学で所蔵する図書及び雑誌の書誌、所在情報を検索するシステムです。従来は図書館1階に5台設置していましたが、昨年12月から2階の第1開架閲覧室に1台、ブラウジングコーナーに2台、3階の第3開架閲覧室とホールに各1台を増設しました。また土曜日にも利用できるようになりました。

利用については、備付けの「愛媛大学オンライン利用者用目録ガイド」をご覧ください。

なお、OPACの検索以外には使用しないで下さい。

○利用時間はつぎのとおりです。

月曜日	13:00~20:30
火曜日	9:00~17:00
水曜日~金曜日	9:00~20:30
土曜日	9:30~16:30

## 学内ネットワーク(EUNET)による OPAC接続利用について 第3報

図書館のOPAC(ONLINE PUBLIC ACCESS CATALOG)を学内ネットワークで利用していただくため、その接続方法を「図書館だより第39号」の付録でお知らせしましたが、内容につきまして下記のとおり補足させていただきます。

接続している端末の漢字コードがJISの場合にはターミナルタイプ選択画面において、18(FRJ83#7), 19(FRJ78#7S), 20(FRJ78#8)のいずれかを接続端末の漢字コード系に応じて選んでください。例: 18(FRJ83#7)は、CODE=JIS83, JISKANA=7です。

またアライドテレシスの通信ソフトを使用している端末の場合、直接総合情報処理セン

ターのホストにアクセスできませんので、最寄りのメールサーバやWSを経由してください。検索のためのキー種別は次のとおりです。

キーボード	種別	キーボード	種別
ESC 1	PF 1	ESC H	HOME
ESC 2	PF 2	ESC N	改行
ESC 3	PF 3	ESC SPAC	挿入
ESC 4	PF 4	CTRL+ D	削除
ESC 5	PF 5	CTRL+ X	行削除
ESC 6	PF 6	CTRL+ Y	カーソル後削除
ESC 7	PF 7	CTRL+ E	リセット
ESC 8	PF 8	ESC A	PA1
ESC 9	PF 9	ESC B	PA2
ESC 0	PF 10	ESC C	PA3

### 自己紹介

田村 理子

(情報サービス課学術情報係)

私の愛称はリコです。本名も理子(りこ)です。図書館に勤め始めてずっと相互利用と文献複写を担当しています。

小さな身体に大きな袋、重い雑誌を一杯入られて研究室から研究室、研究室から図書館へと、城北キャンパスを走りまわっています。(仕事をさぼってうろろしているのではありません。念のために!)おかげで図書館一小さな私は、図書館一の力持ちになったようです。

先日、身体より大きな袋をかかえて歩いていたら留学生が“手伝います!”と声をかけてくれました。(感激!)

私の席は学術情報係カウンターのすぐ近くですが、席に座っていることはあまりありません。でも、席にいる時は気軽に声をかけてください。持ち前の明るさでにこやかに応対いたします。

“では、図書館でおあいしましょう!”

このセリフどこかで聞いたような気がしませんか?

### 自己紹介

高本 裕美

(情報サービス課資料サービス係)

本館1階資料サービス係で貸出・返却の手続をしている、若葉マークのタカモトです。静粛な図書館で1番声の大きい人の顔を思い浮かべてください。きっとそれが私です。

その私が、かかっている病があります。症状は、カード電話のカード返却音を、ブックディテクションの警報音と間違えて、「未手続の本をお持ちでないでしょうか?」と尋ねそうになったり、缶ジュース類を持っている人に、「図書館内は飲食できませんので、外で召し上がってください」と、外で飲んでいる人に、注意してしまったりするのです。

利用者の皆様には、こんなドジで、ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

しかし、これからも頑張りますので、この発展途上の私に、ご意見やお気付きの点等ございましたら、何でも言いつけてください。誕生プレゼント同様、年中受け付けておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 学術講演会を開催

附属図書館では、愛媛地区大学図書館協議会との共催による平成6年度学術講演会を12月9日(金)に開催しました。

講師は図書館情報大学の植松貞夫教授で、講演題目は「大学図書館建築のインテリジェント化」でした。

講演内容の主な項目は1. 図書館建築はそれぞれごとに正解がある, 2. 配置計画, 3. 規模計画, 4. インテリジェント化とは, 5. 知的活動の機械化, 6. 上記に伴う施設側の問題点, 7. 安全対策, などでカリフォルニア州立大ノースリッジ校及びフランスのポルドー図書館のAUTO-LIBRARY保管・搬送装置などの最新の設備を備え、インテリジェント化された図書館の紹介をまじえながらの講演が行なわれました。

この講演会には学内外の図書館員30数名が参加し、多数の質問もあり大変有意義な講演会となりました。

## 大型コレクション購入

この度文部省から平成6年度全国共同利用図書(大型コレクション)購入費の予算配分を受け、「シェイクスピアとその時代」(BIBLIOTHECA SHAKESPEARIANA)全28ユニットを購入しました。

本資料は、16世紀から現代におけるシェイクスピア関連文献約2,000点、800,000頁をマイクロフィッシュに収録した文献集成です。

各文献を28の研究主題別に収録し、さらに研究主題が8つの分野—1. シェイクスピアの生涯と社会, 2. シェイクスピアの作品と文献考証, 3. シェイクスピアの作品講読, 4. シェイクスピアの同時代人, 5. シェイクスピア期の芸術, 6. シェイクスピア期の劇場と舞台, 7. シェイクスピア作品と批判的研究, 8. シェイクスピア期の時代考証—to分類されています。

## 「松高同窓会文庫」配架される

昨年4月より収集を始めました「松高同窓会文庫」は1月末現在30名の方に169冊の寄贈を受けました。この度、図書館1階北に専用の書架を設置し「松高同窓会文庫」として、貸出等利用できるようにしましたので多くの方のご利用を期待しております。

なお、松山高等学校同窓会からの奨学寄付金により、この文庫の専用書架を購入致しました。



## ニュース

### 図書館の刊行物について

図書館では最近以下の刊行物を発行しましたのでご活用下さい。

○愛媛大学附属図書館概要 1994

2年ぶりの改訂です。統計を多くして内容を刷新しました。

○Library Guide 1995

8年ぶりの改訂です。留学生用に作成しました。

○購入雑誌リスト 1995年版

毎年発行しているもので、全学で購入予定の雑誌名とその管理場所を掲載しています。

## 図書館利用申込書について

図書館を利用するためには「図書館利用証」が必要です。平成7年度入学の学部学生から「学生証」と「図書館利用証」が一体化(学生証の裏面が図書館利用証)されています。

新入生は別途「図書館利用証」を作る必要はありませんが「図書館利用申込書」を提出していただくことになっています。

4月21日(金)までに「図書館利用申込書」に必要事項を記入して、図書館1階の資料サービス係へ提出して下さい。(図書館利用申込書を提出しないと貸出ができません。)

なお、平成7年度入学の院生、専攻生等及び平成6年度以前入学の学生は、「学生証」とは別に「図書館利用証」が必要です。資料サービス係カウンターで手続をして下さい。ただし、医学部及び農学部の専門課程移行者で、まだ利用証の交付を受けていない方は、各分館で手続をして下さい。

— 図書館利用申込書受付日時 —

期間：4月10日(月)～4月21日(金)  
ただし、土曜日及び日曜日を除く  
時間：9：00～17：00

①

<p><b>学 生 証</b></p> <p>平成 年度入学 学 部</p> <p>昭和 年 月 日 生</p> <p>本学学生であることを証する 平成7年4月1日 愛媛大学長 有効期限 平成11年3月31日</p>	<p><b>図 書 館 利 用 証</b> 2010205950084</p> <p>1. 本証は常に所持し、本学職員(連合農学研究所にあっては、構成大学職員を含む。)の要求があったときは、いつでも提示すること。 2. 本証は他人に貸与してはならない。 3. 交換の際及び証明書、割引証の請求、授業料の納付、並びに附属図書館の利用等の場合は、本証を提示すること。 4. 紛失又は汚損したときは、直ちに所属学部・研究所の学務係等担当係に届け出て再交付を受けること。 5. 有効期間経過後は、直ちに返納して新たに交付を受けること。 6. 卒業、修了、退学その他学籍を離れたときは、直ちに本証を所属学部・研究所の学務係等担当係に返納すること。 7. 連絡先 法文、教育、理、工学部 0899-24-7111内 医学部 0899-64-5111内 農学部 0899-41-4171内</p>
--	---

平成7年度入学の学部学生は②を提出すれば①で図書館が利用できます。

平成7年度入学の院生、専攻生等と在籍生でまだ③「図書館利用証」を持っていない学生は至急②を提出して③の交付を受けて下さい。②は資料サービス係カウンターにあります。

②

図 書 館 利 用 申 込 書									
平成 年 月 日									
フリガナ									
氏 名	( 学生証番号 )								
所 属	学部	学科	身 分	( 入学年度 )					
交付年月日	年	月	日	受 領	( 利用証番号 )				
フリガナ									
現 住 所	( 郵便番号 ) - ( 電話番号 ) ( ) - ( )								
フリガナ									
帰 省 先	( 郵便番号 ) - ( 電話番号 ) ( ) - ( )								

ボールペン(黒)で記入して下さい。

③

図 書 館 利 用 証

---

氏 名 \_\_\_\_\_

所 属 \_\_\_\_\_ 入 学 年 度 \_\_\_\_\_

愛媛大学附属図書館

### 図書館日誌(会議, 研修)

- 12月9日 平成6年度学術講演会(附属図書館視聴覚室)
- 1月18日 平成6年度国立大学附属図書館事務部長会議(長崎大学)